

## 経済状況及び動向等資料

今後の事業資金融資あっせん制度の方向性について、下記の動向及び実績等から検討する。

### 記

- 1 月例経済報告及び地域経済動向等の概況
- 2 東京都内の中小企業の景況
- 3 都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数

## 1 月例経済報告及び地域経済動向の概況

### (1) 月例経済報告〔内閣府〕

#### ① 景況判断（最近3か月間）

##### <令和2年1月>

景気は、輸出が引き続き弱さ含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。

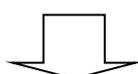
先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。



##### <令和2年2月>

景気は、輸出が弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増した状態が続いているものの、緩やかに回復している。

先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、通商問題を巡る動向等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響にも留意する必要がある。



##### <令和2年3月>

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。

先行きについては、感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

② 月ごとの主要指標の変更点

	1 月月例報告	2 月月例報告	3 月月例報告
個人消費	持ち直している。	—	感染症の影響により、このところ弱い動きとなっている。
設備投資	緩やかな増加傾向にあるものの、一部に弱さがみられる。	—	おおむね横ばいとなっている。
住宅建設	弱含んでいる。	—	—
公共投資	堅調に推移している。	—	底堅く推移している。
輸出	弱含んでいる。	—	—
輸入	おおむね横ばいとなっている。	このところ弱含んでいる	感染症の影響により、このところ減少している。
貿易・サービス収支	おおむね均衡している。	黒字となっている。	—
生産	一段と弱含んでいる。	引き続き弱含んでいる。	—
企業収益	高い水準にあるものの、製造業を中心に弱含んでいる。	—	製造業を中心に弱含んでいる。
業況判断	製造業を中心に引き続き慎重さが増している。	—	感染症の影響により、悪化している。
倒産件数	おおむね横ばいとなっている。	このところ増加がみられる。	—
雇用情勢	改善している。	—	改善してきたが、感染症の影響がみられる。
国内企業物価	このところ横ばいとなっている。	—	このところ緩やかに下落している。
消費者物価	このところ上昇テンポが鈍化している。	—	このところ横ばいとなっている。

(2) 地域経済動向（令和2年3月）－南関東地域－〔経済産業省〕

	令和元年11月		令和2年3月
景況判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	⇒	足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる
個人消費	持ち直しの動き	⇒	足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱い動きがみられる

2 東京都内の中小企業の景況（東京都産業労働局商工部調べ）

(1) 最近4ヶ月の景況

調査月	令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
業況	やや改善	改善の動きが鈍化	3か月連続で改善	新型コロナウイルス感染症の影響等により悪化
見通し	2か月連続で上昇	悪化に転じる	ほぼ横ばいで推移	感染の影響を懸念し非常に大幅な悪化

### 3 都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数

#### (1) 都内の状況（令和元年分）

令和元（2019）年の倒産件数は、1,580件（前年比3.2%増）となり、前年を上回った。業種別件数では、サービス業330件、卸売業288件、情報通信・運輸業214件の順となった。

#### (2) 多摩地域の状況

令和元（2019）年の倒産件数は、203件（前年比4.2%減）となり、前年を下回った。業種別件数では、建設業52件、小売業30件、サービス業29件の順となった。

#### (3) 西東京市内の状況

令和元（2019）年の倒産件数は、3件となり、前年7件から減少している。業種別件数では、建設業1件、製造業1件、宿泊業・飲食サービス業1件であった。

#### ＜西東京市内における企業倒産状況の推移＞

(件数)

年 (1～12月)	建設業	製造業	情報通信・運輸業	卸売業	小売業	不動産業	飲食店・宿泊業	サービス業	その他	年別合計
平成16年	3	0	-	0	0	1	-	0	0	4
平成17年	4	2	-	2	1	0	-	0	3	12
平成19年	2	2	-	2	3	0	-	3	0	12
平成20年	12	1	0	4	3	0	0	4	0	24
平成21年	5	1	2	2	1	4	0	2	0	17
平成22年	2	1	3	1	0	0	0	5	0	12
平成23年	3	4	2	3	3	0	0	3	1	19
平成24年	6	1	2	2	2	3	0	4	0	20
平成25年	4	1	1	0	1	1	0	0	0	8
平成26年	3	1	0	3	1	1	0	2	0	11
平成27年	2	2	1	5	1	0	0	1	0	12
平成28年	1	1	1	1	1	1	0	1	1	8
平成29年	3	0	0	1	1	0	1	1	0	7
平成30年	1	1	0	0	2	0	0	3	0	7
令和元年	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3

出典：東京都産業労働局「東京の企業倒産状況」（株）東京商工リサーチ調べ）

注1）負債額1000万円以上の倒産

◎ 全体的な傾向の考察

項目	指標	傾向
経済情勢	月例経済報告・地域経済動向・東京都中小企業の景況	<p>月例経済報告・地域経済動向：新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。</p> <p>東京都中小企業の景況：新型コロナウイルス感染症の影響等により悪化</p>
倒産件数	都内の中小企業の倒産件数の動向	<p>多摩地域：減少している。</p> <p>西東京市：減少している。</p>